

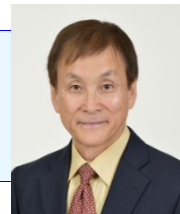
第10回 武庫川流域圏ネットワーク 活動報告会

- 日時：2020年11月28日(土) 13時～16時40分
- 会場：さらら仁川 北館 3階ホール (阪急 仁川駅 東側)
- ※ 事前申込み制：mukogawaken.net@gmail.com (件名：報告会参加)

◆ お願い ◆ (当日参加はできません)
 100名の会場ですがコロナ制約で32名が上限です。ご希望の方は、メールによる事前申込みをお願いします。
 内容につきまして、講演要旨集の配布や、HPによる公開を実施の予定です。

プログラム

13:00	武庫川流域圏ネットワークからの活動報告 代表 山本義和
特別講演	
13:20	魚類にとって望ましい河川とは何か？ ～回遊様式と水系ネットワークの関係から津門川を考える～ 細谷和海 (近畿大学名誉教授・日本魚類学会前会長)
14:40	(休憩)
口頭発表 司会：山本義和・古武家善成 (流域圏ネット)	
14:50	1. 津門川の自然再生に向けた魚類相調査～2020年度結果報告～ ○田井魁人・富森祐樹・藤田朝彦・細谷和海・松沼瑞樹 (近畿大学)、三宅凜太郎 (兵庫県立大学)、阪本義樹 (西宮市環境学習都市推進課)、白神理平・山本義和 (武庫川流域圏ネットワーク)
15:10	2. 津門川のハゼ科魚類 ○富森祐樹・松沼瑞樹 (近畿大学水圏生態学研究室)
15:30	3. 宝塚中学校科学部の発表 田摩史登たなびきふみと・受川太一・小寺将太郎・山城喬楽たから・岡田壮弘あきひろ・橋村 朔 顧問：坂上知里
15:50	4. 篠山城堀における外来生物の駆除活動 兵庫県立篠山東雲しのめ高等学校 自然科学部 顧問：田井彰人
16:10	5. 武庫川下流域の治水点検と課題 ○小川嘉憲・白川政昭 (21世紀の武庫川を考える会)
16:30	閉会の挨拶：小川嘉憲 (流域圏ネット副代表)



特別講演について

淡水魚は一生を同じ場所にとどまることはなく、繁殖を目的に移動や回遊するのが普通です。ところが、日本の河川は、治水や利水を目的に人工的な構造に変えられているために、移動することが難しくなっています。魚類にとって望ましい河川とは何かを整理し、都市河川である津門川の魚類多様性の保全を皆さんと一緒に考えてみましょう。



豊岡市コウノトリの工サ魚の調査 津門川魚類相調査団 2020年7月2日
 兵庫県から発見された新種ナガレホトケドジョウ
Lefua torrentis Hosoya, Ito and Miyazaki, 2018

細谷和海 (ほそや かずみ) 先生

1975年、京都大学農学部卒。農学博士。水産庁水産研究所室長を経て、2000年より近畿大学農学部教授(2018年近畿大学名誉教授)。日本魚類学会前会長、現在、環境省絶滅の恐れのある汽水・淡水魚選定委員会座長など。専門は魚類学、系統分類・自然保護論。淡水魚の分類から外来種、水田生態系の保全まで。著書『日本の淡水魚』、『シーボルトが見た日本の水辺の原風景』、『ブラックバスを退治する』など。



津門川調査 投網 アウ
 2020年7月、10月